



〇時間が経つのは早いものです。休業に入り1週間あまり経ちました。
～ 141名の子供たちの声が聞こえない日々です。 ～

全校の子供たちが、臨時休業に入ってから早いもので、もう1週間が経とうとしています。学校では、本来なら卒業式に向け、年度末に向けて、慌ただしい日々が過ぎている時期ですが、静かに時間が経過しています。朝から校舎に響く卒業式の歌も聞こえません。教職生活三十有余年の日々の中で、こんな年度末、3月は初めてです。もちろん、全ての教員が初めての経験です。

こんな時、しみじみ思います。子供のいない学校の空虚感。広い校舎、校庭、体育館がとても寂しそうです。

先日、雨の中でしたが、4日（水）に全学年の家庭訪問を行いました。子供たちは、それぞれこの休みに困惑している様子でした。しかし、持ち帰ったドリル・プリントなどにそれぞれ取り組んでいる様子も見られました。一方で、「生活記録日誌」を書いていない児童もあったようで、担任の訪問時に慌てて書く児童もありました。実に様々でした。時間をいかに計画的に上手に使うか。難しいところですね。くれぐれも起床時間や就寝時間の規則的なリズムを崩さないように、各家庭で再度話し合い、指導をよろしくお願いします。「生活記録日誌」にも、起床・就寝時間の記入欄があります。各家庭で、再度、確認をお願いします。保護者のみなさんが帰宅時には、必ず、「生活記録日誌」を確認して下さい。そして、一日の様子を聞いてください。子供たちの生活面で何かお困りのことがあれば、学校に御連絡ください。担任がいつでも家庭訪問に伺います。また、学校児童受け入れは、いつでも対応します。預かり時間は、原則午前8時30分から午後3時としていますが、個別の相談には対応します。御遠慮なく連絡下さい。また、先日、2名ほど預け入れ依頼があり預かりましたが、学校で過ごす時間に退屈した様子もあり、今後、学校での過ごし方も工夫をします。

さて、先日、新聞にこんな記事がありました。「子供の留守番注意点は？」という記事です。全国の子供たちが日中、子供たちだけで、あるいは一人で留守番をしている実態があります。子供たちを危ない目に遭わせないためにも、次のような注意点が記載されていました。

【 子供の留守番・注意点 】

- ①戸締まりを徹底し、来客があっても出ない。（もちろん、親類や近所の方等は、別です。）
- ②電話にでない。（万一、出てしまっても怪しい電話などであれば、すぐに切り、親に伝える。）
- ③親の連絡先や約束事等を書き置く。（よく見える所に大きく貼り、掲示しておく）
- ④ゲームやスマホなどの交流サイトにアクセスしない。個人情報などをネットにあげない。
もちろん、ゲーム漬け・ネット漬けの生活に注意を！！ルールを決めて。
- ⑤勧誘などの電話であれば、すぐに断る。応じない。
- ⑥食事などは、煮炊きしなくても良いものを用意。弁当なども良いですね。（おかずだけを用意しておく。）
（電子レンジで温めるものなど。但し、温めすぎには注意。）

そして、困ったとき、何かあれば、学校に電話をするように伝えて下さい。いつでも先生が、家庭訪問に伺います。
子供に学校の電話番号・(71-0108) をしっかり伝えて下さい。よく見える場所にはっておいて下さい。

さて、この文書配布の11日（水）12日（木）に家庭訪問を実施しましたが、児童各自の生活の様子、学習の様子で心配される状況が見られる児童に対しては、更に随時、家庭訪問を行います。また、子供の生活面・学習面で相談があれば、学校に御連絡ください。教員も出張等がない場合には、学校で期末成績処理・年度末事務業務等を行い、通常通り勤務していますので、日中は御相談に対応できます。時間外の際は、いつも通り、**学校携帯(080-1937-3197)**に連絡下さい。

最後に、臨時休業中に子供たちの怪我や病気、体調の変化で問題などあれば、必ず、学校に連絡下さい。病名のはっきりしたものについても連絡下さい。万一、コロナウイルス感染症の診断など出た場合は、必ず、学校に連絡ください。よろしくお願いします。

※尚、教職員が定期的に、校区内を安全パトロールしています。御承知ください。

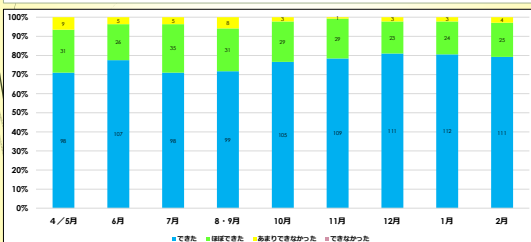
○令和元年度、最後の全校集会 ～ 校長最後のプレゼン、そして、全校最後の歌 ～

3月2日（月）本年度最後の全校集会をしました。その中で、昨年度着任してからは、校長としての子供たちへの最後のプレゼンをしました。

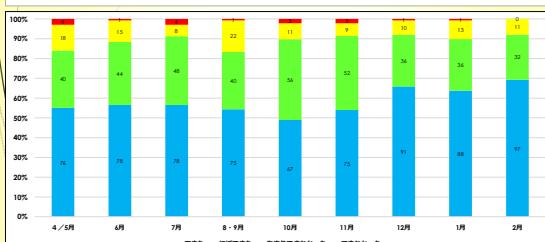
いつも通り「エイトリくんアンケート」を示し、4月から2月までの結果を提示しました。思いは、3月分もと考えていましたが、2月27日の発表を聞き、本年度は2月で終わることにしました。

さて、次のような結果でした。

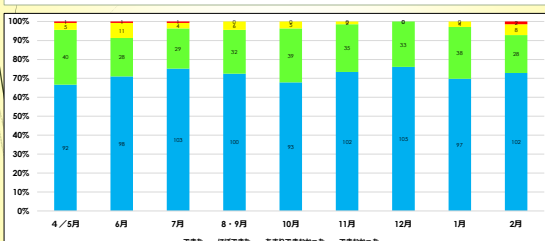
つながる子：みんなとあかいいあいさつができ、いじめやなかまはずしをしないで、みんなと仲良くし、みんなのためにすすんで行動



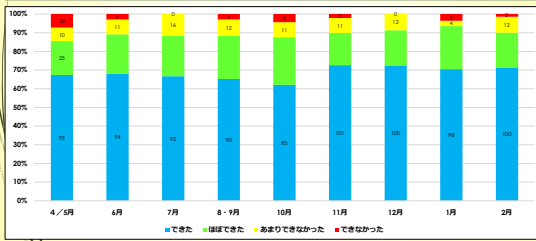
うみだす子：じぶんの考えを、ノートにたくさん書き、すすんで発表し、みんなと力を合わせて勉強できた。



やりぬく子：時間を守って生活し、くつろげやそうじをがんばった。「八東スタイル」ができるようにがんばった。



かかわる子：ふるさとの人々にかかわり、じぶんの住んでいる村や町の行事にすすんで参加した。

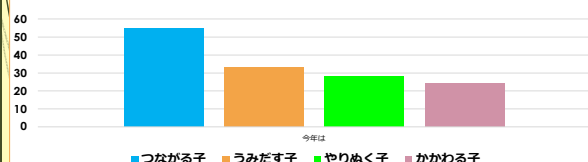


実は、今回のプレゼンも本年度、最後のつもりではなかったのですが、八東小学校での校長としての最後のプレゼンになりました。子供たち、保護者のみなさん、学校関係者のみなさん、たくさんの方々に、私の拙いプレゼンを見て・聞いていただきました。ありがとうございました。全てカウントしてみると、全部で54本にもなりました。全校集会のプレゼンは、去年の途中から八東小学校のホームページにもアップして保護者のみなさんにも見ていただけるようにしました。毎月、毎月、続けることの大切さを思います。また、子供たちにアンケートもとって、時期に応じて、いろいろな質問もしました。毎回、全児童の回答を読むのが楽しみでした。

さて、「つながる子」「うみだす子」「やりぬく子」「かかわる子」の「四つの子供像」の中で、本年度、子供たちが一番がんばったのは、そして、来年度、一番がんばりたいのは、次のような「子供像」でした。

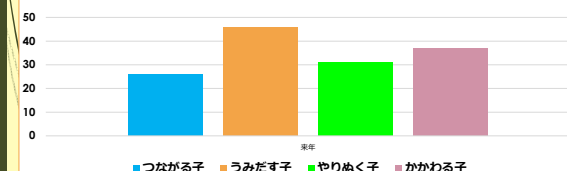
さて、**今年**、みなさんは「4つの子」のどれを一番がんばりましたか。

今年がんばったのは。



では、**来年**は、みなさんは「4つの子」のどれを一番がんばりたいですか。

来年がんばるのは



「つながる子」 でした。毎月のアンケートの結果でも分かります。みんなが意識して取り組みました。

「うみだす子」 でした。是非、自分の考えを書き、そして、発表できる八東の子供になりましょう。

来年度も八東小学校の子供たちが、「四つの子供像」をめざしてがんばってくれることを期待します。